

**NEWS RELEASE**

平成 21 年 1 月 5 日

**電通グループの新企業理念「Good Innovation.」のもと、  
本格的な自己変革、自らのイノベーションを進める。**

—電通新年仕事始式で高嶋社長があいさつ—

株式会社電通（高嶋達佳社長）の平成 21 年仕事始式が、1 月 5 日午前 9 時 50 分から東京本社他で開催された。東京本社の仕事始式は汐留本社ビル 1 階電通ホールで行われ、高嶋社長が年頭の所信を述べた。要旨は以下のとおり。



電通グループを取り巻く社会、経済、テクノロジーの変化は構造的なものである。

急速かつ構造的な変化に対応するためには、常に広い視野に立って将来を見据え、自らを変えていく「勇気」と、未来を切り拓く「気概」を持つことが大切である。

このような思いを込めて、このほど電通グループは新しい企業理念を定めた。新しい企業理念を表わすスローガンは「Good Innovation.」（グッド・イノベーション）である。

この「イノベーション」という言葉には単なる技術革新だけではなく、自らの働き方を変革するとともに、アイデアによって新たな価値を創造し、社会全体に、より良い未来と幸せをもたらす企業グループでありたいという私たちの決意が込められている。

また、コミュニケーション領域に加え、クライアントの経営課題や事業課題と絶えず向き合い、その本質を捉えたソリューションを提供していこうとする私たちのビジネスのあり方を示す言葉でもある。

こうしたイノベーションを進めていくためには、「その手があったか」といわれるアイデア、「そこまでやるか」といわれる技術、「そんなことまで」といわれる企業家精神が必要である。従来の常識にとらわれない新鮮な発想によって知恵を生み出していかなければならない。そのために二つの「想像力」、すなわち、「旺盛なクリエイティビティー」と、「豊かなイマジネーション」をより大きく育てる環境を整えることに一層努める。

この「Good Innovation.」という企業理念の下、パートナーであるクライアント、メディア、コンテンツ・ホルダーに対して私たちが日々提供していくもの、それは未来を拓く Integrated Communication Design（インテグレートド・コミュニケーション・デザイン）である。従来、電通グループは事業領域をトータル・コミュニケーション・サービスとしてきたが、私たちには生活者の行動変化の本質やブランドの課題についての、より深い洞察が求められている。個々のサービスの質はもちろんのこと、それらを統合し、具体的なカタチにしていくことが何よりも大切なのである。インテグレートド・コミュニケーション・デザインはこのような電通グループの新たな事業領域と強みを示す言葉である。今こそ、自らの手で私たちの取り組む仕事をイノベートし、あらゆるコミュニケーションを統合的にデザインする企業グループとなる時である。

この一年間、「デジタル」「グローバル」「ソリューション」を始め、様々な施策に取り組み、歩むべき道筋を整えてきたが、今年、新しい企業理念のもとで、本格的な自己変

革、自らのイノベーションを進めていきたい。

イノベーションとは、日々の仕事における創意と工夫の積み重ねから生まれるものではないだろうか。着慣れた服が少々、体に合わなくなってきたら、思い切って今まで着たことなかったデザインの服を試してみるという、そのような気持ちで身近な変革に取り組んで欲しい。

「Good Innovation.」というスローガンのもと、新しい電通グループをつくりあげていこう。